

大 個 審 第 1 4 号
(答 申 第 6 5 号)
平成 1 6 年 8 月 4 日

大阪府知事 様

大阪府個人情報保護審議会
会長 佐藤 幸治

個人情報の取扱いに関する意見について（答申）

平成 1 6 年 7 月 2 2 日付け成人第 8 0 号で諮問のありましたカルテ等診療情報に係る大阪府個人情報保護条例第 8 条第 1 項第 7 号に規定する個人情報の目的外利用及び提供の禁止に対する例外事項については、審議の結果、下記事項に留意して、個人情報の保護に万全の措置を講じることを前提に、本件提供に関して例外事項に該当するものとして取り扱って差し支えないものと認めましたので、答申します。

記

- 1 本件申出者については、本人の長男として、最も関係の深い遺族の一人であるとともに、入院中において医師から本人の検査結果に関する説明を受けるなど、申出者は本人の本件入院に係る病状等に関する情報について知る立場にあり、これらの個人情報を申出者に提供したとしても本人の権利利益を侵害するおそれはないものと思われる。
ただし、問診票中、「今までにかかった病気と、受けられた治療について」欄に記載されている「年齢」、「病名」及び「病気や治療の経過」のうち、申出者が知り得なかったと推測され得る余地があり、かつ、一般に、特に他人に知られたいと望むことが正当であると認められる部分については、本人の権利利益の保護の観点から、申出者に提供することは適当でない。
- 2 また、提供対象となる情報の中の第三者に関する情報のうち、成人病センターの医師、看護師等の職員に関する情報については、府民の利用に供することを目的として管理する刊行物等に記録されている個人情報であることから、申出者に提供しても当該第三者の権利利益を不当に侵害するおそれがないものと考えられる。
- 3 しかしながら、提供対象となる情報の中の第三者に関する情報のうち、上記以外の医療機関の名称が識別され得る部分については、当該医療機関の同意を得た上で提供することとされたい。
- 4 さらに、申出者以外の親族に関する個人情報については、当該人の同意を得た上で提供することとされたい。